

2026年度

大学院学生募集要項

修士課程 [第1次・第2次] 募集

英 語 学 専 攻
ロ シ ア 語 学 専 攻
中 国 語 学 専 攻
イ ス パ ニ ア 語 学 専 攻
国 際 関 係 学 専 攻
日 本 ア ジ ア 言 語 文 化 専 攻



Kobe City University of Foreign Studies

神戸市外国語大学

大学院外国語学研究科

目 次

■外国語学研究科(修士課程)概要	1
------------------------	---

■修士課程学生募集要項(一般選抜)

1. 募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 資格審査	5
4. 外国人特別選抜	6
5. 出願手続	6
6. 受験票の送付	8
7. 選抜方法	8
8. 合格発表	10
9. 入学手続	10
10. 入学必要経費	10
11. 入学時期	10

■修士課程学生募集要項(社会人特別選抜)

1. 募集人員	11
2. 出願資格	11
3. 資格審査	12
4. 出願手続	12
5. 受験票の送付	13
6. 選抜方法	13
7. 合格発表	13
8. 入学手続	13
9. 入学必要経費	13
10. 入学時期	14

■長期履修学生制度	15
-----------------	----

■履修コース及び単位取得方法	16
----------------------	----

■教員との連絡方法	20
-----------------	----

■添付書類

- ・入学願書
- ・資格審査申請書
- ・モナッシュ大学 ダブル・マスタートプログラム応募用紙
- ・長期履修申請書
- ・受験票及び払込受付証明書貼付書
- ・払込取扱票
- ・受験票送付用封筒

個人情報の取扱いについて

本学大学院外国語学研究科では、出願書類等に記載されている氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報は、入学者選抜、合格者発表および入学手続き等を行うために利用します。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しません。

外国語学研究科(修士課程)概要

教育研究上の目的

幅広い視野と柔軟な思考を持ち、各々の学問領域の広く深い学術的知見を背景に、新たな知の創出に向けた問題発見・解決能力を有する専門研究者を育成すること、および同様の学術的知見とともに、異文化理解の能力を身に付け、国際社会の持続可能な発展に寄与することのできる高度職業人を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー

時代が大きく移り変わるなか、これまで世界を支えてきた秩序、体制が揺ぎ、新たな国際環境が生まれつつあります。絶えず変化する環境のなかで、それに応じた人材が社会に必要とされる一方、人文社会科学の価値も問い直される時期にきています。

本学では、こうした時代と社会の要請に応え、新しい知の体系の創造を担うことのできる幅広い学識と国際感覚を有する学術研究者・教育者、および高度専門職業人の育成を教育の基本方針とし、修士課程と博士課程を設置しています。

大学院入学者選抜試験では、人文社会科学の各分野における専門的知識を有するとともに社会が直面する課題に幅広い関心を持ち、国際的な場でも活動しうる外国語能力にすぐれた人材を求めます。

＜修士課程＞

英語学専攻(語学領域)

〔人材育成の目的〕

「英語」という言語がどのようなものであるのかを探る、現象の記述や実験を中心とした実証的な研究や、さまざまな枠組みでの理論研究を行うための指導を行っています。

〔求める学生像〕

1. 英語や日本語をはじめ、人間の持つ言語一般について強い興味を持つ人
2. 論理的思考力、日本語および英語の読解力と表現力、情報リテラシーを備えている人
3. 自分で問題を設定し、それを解決するための手だてを探索していくことができる人

〔入学者選抜の基本方針〕

英語力、専門的知識および研究能力を重視し、英語学に関連する論文またはレポートと研究計画書等の出願書類、英語および英語学・言語学に関する筆答試験、およびそれらについて日本語と英語で試問する口述(面接)試験により、入学者を選抜します。

英語学専攻(文学領域)

〔人材育成の目的〕

英語の高度な運用能力を身につけると同時に、外国語大学の特性を生かした複数の外国語との比較などを通して、「言葉」に対する感受性の練磨を目指します。具体的には、さまざまな文学作品をていねいに読み込み、作品の中の「言葉」の働き方を的確に見極めることで、作家の主張を理解するとともに、その背景にある社会の風土や歴史への深い認識を獲得することを目標とします。

〔求める学生像〕

1. 英語圏の文学・文化に強い関心をもつ人
2. 英語をはじめとする「言葉」一般に対する飽くなき好奇心と粘り強い探究心を備えた人
3. 異文化について得た知識を、積極的・意欲的に社会に還元し、活用しようとする姿勢をもつ人

〔入学者選抜の基本方針〕

英語力、専門的知識および研究能力を重視し、英語圏文学に関連する論文またはレポートと研究計画書等の出願書類、英語および英語圏文学に関する筆答試験、およびそれらについて試問する口述(面接)試験により、入学者を選抜します。

英語学専攻(通訳翻訳学領域)

〔人材育成の目的〕

通訳翻訳行為のプロセスとプロダクトについて理論的考察を深めるとともに、実際の具体的な訳出を観察・分析し、自らの通訳翻訳の実践力も高めることを目指します。通訳翻訳の対象となる言語ペアは日本語と英語を基本とします。

〔求める学生像〕

1. 日本語と英語を用いたコミュニケーションにおける理解力や表現力のさらなる向上を目指す人
2. 通訳学・翻訳学にかかわる学際的研究へのたゆまぬ知的好奇心を抱く人
3. 通訳翻訳の理論と実践を主体的に学び、広く社会に還元する姿勢を持続する人

〔入学者選抜の基本方針〕

専門的知識および研究能力を重視し、志望する専攻の科目に関する筆答試験と、志望する専攻の分野に関連する論文またはレポートと研究計画書等について試問する口述(面接)試験により、入学者を選抜します。

ロシア語学専攻

〔人材育成の目的〕

高度なロシア語運用能力と幅広い教養、そして高い専門知識を持ち、日本におけるロシア研究をリードするだけでなく、国際的な舞台でも学術研究に重要な貢献をなしうるような人材の育成を目指します。

〔求める学生像〕

1. 自らの研究対象を徹底的に解明しようとする強い探求心と意志を持つ人
2. 研究者としても一市民としても高い倫理観を有する人
3. 既存の価値観にとらわれない柔軟性を持ちつつ、同時に謙虚に、地道に研究を続けることのできる人

〔入学者選抜の基本方針〕

専門領域に関する知識、研究能力等を重視し、志望する専攻の科目に関する筆答試験と、志望する専攻の分野に関連する論文またはレポートと研究計画書等について試問する口述(面接)試験により、入学者を選抜します。

中国語学専攻

〔人材育成の目的〕

中国語圏の言語・文学・文化に対する高度な専門的知識と幅広い教養を持ち、全世界的な広い視野をも兼ね備えたシノロジストを養成することを目指します。そのため、自らが設定した研究課題を深く掘り下げ、徹底した分析によって問題を解決に導くとともに、それを論理的に表現するための能力を身につける訓練を行います。

〔求める学生像〕

1. 中国語圏の言語・文学・文化などをより深く掘り下げて学びたい人
2. 自らが設定した研究課題に意欲的に取り組むとともに、関連する知識を貪欲に吸収しようとする人
3. 将来、大学院で習得した専門的知識を活かして社会に貢献しようと考えている人

〔入学者選抜の基本方針〕

専門的知識および研究能力、または、研究に関する問題意識および研究意欲ならびに適性などを重視し、志望する専攻の科目に関する筆答試験と、志望する専攻の分野に関連する論文またはレポートと研究計画書等について試問する口述(面接)試験により、入学者を選抜します。

イスパニア語学専攻

〔人材育成の目的〕

高度なスペイン語(イスパニア語)運用能力を基礎として、創造的な研究を行うことを目指します。スペイン語およびその背後に広がる文化的背景についての広範かつ専門的な知識を習得するとともに、人文社会科学の最先端を見据えた独創的な研究に取り組み、その成果を広く国内外に発信することのできる人材の育成を目標としています。

〔求める学生像〕

1. スペイン語およびスペイン語圏に関する研究に幅広く関心を持つ人
2. スペイン語を中心とした言語運用能力によって学術的知見の還元を目指す人
3. 旺盛な知的好奇心をもって、研究課題に取り組むことのできる人

〔入学者選抜の基本方針〕

専門的知識および研究能力、または、研究に関する問題意識および研究意欲ならびに適性などを重視し、志望する専攻の科目に関する筆答試験と、志望する専攻の分野に関連する論文またはレポートと研究計画書等について試問する口述(面接)試験により、入学者を選抜します。

国際関係学専攻

〔人材育成の目的〕

国際社会の動きを幅広い専門的視点(法学・政治学、経済学・経営学、文化論)からとらえ、国境を越えて広がる複雑多岐な課題に柔軟に対応する能力を養い、国際社会の様々な分野で活躍できる人材の育成を目指しています。

〔求める学生像〕

1. 様々な国際的な課題に対して柔軟に対応するために必要な幅広い専門知識(法学・政治学、経済学・経営学、文化論)を習得し、異文化理解を深めようという強い意欲をもつ人
2. 将来、専門知識と外国語を活用して、国際舞台で働き、かつ国際社会の発展に貢献したい人
3. 国際問題や文化摩擦などに関わる専門家や研究者を目指す人

〔入学者選抜の基本方針〕

＜法律・政治領域、経済・経営領域＞

専門的知識および研究能力を重視し、志望する専攻の科目に関する筆答試験と、研究計画書等について試問する口述(面接)試験により、入学者を選抜します。

＜文化領域＞

専門的知識および論述能力、または、希望する研究内容に関する問題意識を重視し、志望する専攻の科目に関する筆答試験と、研究計画書等について試問する口述(面接)試験により、入学者を選抜します。

日本アジア言語文化専攻

〔人材育成の目的〕

当専攻には、「日本語」「日本文化」「アジア言語文化」の三領域があり、日本とアジアの言語・文化・社会に関する高度な専門教育を提供しています。人文社会科学の最先端をリードする研究者の養成と、幅広い国際感覚と高い外国語運用能力を備えた人材の養成を、教育の基本方針としています。

〔求める学生像〕

1. 研究を遂行するための言語能力と基礎知識を持つ人
2. 日本とアジアの様々な言語・文化に広い関心を持つ人
3. 日本とアジアの言語・文化・社会に関心を持つ社会人、および留学生

〔入学者選抜の基本方針〕

専門的知識および研究能力を重視し、志望する専攻の科目に関する筆答試験と、研究計画書等について試問する口述(面接)試験により、入学者を選抜します。

履修コース

・論文コース

「人文社会科学の最先端をリードする研究者の養成」を目標とし、広く深い学術的知見の獲得と問題発見・解決能力の育成を目指した指導体制が敷かれています。本学修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目から30単位以上を取得し、学位論文の提出と、その審査及び最終試験に合格することを要します。将来新たな問題の発見と解決が行える自立した研究者を目指す方を対象としています。

・課題研究コース

「幅広い国際感覚と高い外国語運用能力を備えた人材の養成」を目標とし、当該分野の学術的動向の把握、広範な学識の修得、ないし深い異文化理解を目指した指導体制が敷かれています。本学修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目から30単位以上を取得し、課題研究の提出と、その審査及び最終試験に合格することを要します。将来国際社会において対外的なニーズに即応できる的確な判断力と柔軟に行動できる国際感覚をもった社会人を目指す方を対象としています。

2026年度 修士課程学生募集要項（一般選抜）

1. 募集人員 47名

専攻課程（領域）	募集人員	うち第1次	うち第2次
英語学専攻（語学／文学／通訳翻訳学）	10名	15名程度	10名程度
ロシア語学専攻（語学／文学）	5名		
中国語学専攻（語学／文学）	5名		
イスパニア語学専攻（語学／文学）	5名		
国際関係学専攻（法律・政治／経済・経営／文化）	10名	5名程度	5名程度
日本アジア言語文化専攻（日本語／日本文化／アジア言語文化）	12名	6名程度	6名程度

（注1）志願者が各専攻課程の募集人員に達しない場合でも、選考の結果によっては合格とならない場合があります。

（注2）第1次募集で募集人員に満たなかった場合、第2次の募集人員を増やすことがあります。

（注3）モナッシュ大学（オーストラリア）とのダブル・マスタープログラム（英語学専攻・通訳翻訳学領域）を希望する場合は、第1次募集で出願してください（第2次募集では募集しません）。また、コースは課題研究コースのみとなります。募集人員は5名です。プログラムの開始は2026年2月となります。現在大学在学中の方は、受験許可に関する証明書類をご準備いただきますので、出願前にあらかじめ本学大学院担当にご相談ください。（本学の在學生については必要ありません。）

（注4）募集人員には、外国人特別選抜及び社会人特別選抜に基づく入学者選抜による募集人員を含みます。外国人特別選抜については6ページを、社会人特別選抜については11ページをご参照ください。

（注5）過去の入試問題については本学研究所事務室窓口および本学ウェブサイトでご覧いただけます。郵送は行っておりません。

2. 出願資格（第1次募集、第2次募集共通）

以下の各号のいずれかに該当する者

- 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または2026年3月31日までに卒業見込みの者
- 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または2026年3月31日までにその見込みの者
- 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者または2026年3月31日までにその見込みの者（※注1）
- 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2026年3月31日までに修了見込みの者
- 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
- 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- 旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号）
- 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者または2026年3月31日までに修了見込みの者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号）
- 神戸市外国語大学（以下「本学」という。）大学院研究科において、個別の資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2026年3月31日までに22歳に達する者（※注2）

(注1) (3)に該当する者のうち、外国人留学生については、外国人特別選抜に基づく入学選抜試験で受験することができます。ただし、出願資格(1)、(2)に該当する者は除きます。

(注2) 出願資格(10)に該当する者とは、以下のいずれかに該当する者です。この場合、資格審査を受ける必要があります。

- ① 短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本校、外国人学校その他の日本における教育施設の修了者または2026年3月31日までに修了見込みの者
- ② 外国において高等教育を修了した者で、学士の学位に相当する学位を有さず、高等教育修了後、日本国内の大学において研究生、研修員等として1年以上研究に従事した者、または2026年3月31日までに従事することになると見込まれる者

(注3) モナッシュ大学とのダブル・マスタープログラム応募要件

英語学専攻・通訳翻訳学領域志望で、モナッシュ大学とのダブル・マスタープログラム参加を希望する場合は、出願時点で下記の要件を満たす必要があります。

- ① 学位 学士の学位を有する者または取得見込みの者
- ② 英語能力 TOEFL iBT® 総合 79 以上(うち Writing 21 以上、Listening 12 以上、Reading 13 以上、Speaking 18 以上)または、IELTS Academic Module 総合 6.5 以上(うち Writing / Listening / Reading / Speaking がそれぞれ 6.0 以上) ※どちらの場合も2025年4月から出願までに実施されたもの。

※日本語が母語でない者は、応募に先立ち必ず申し出をし、応募要件の確認をしてください。

3. 資格審査(出願資格(10)により出願しようとする者のみ)

出願資格(10)により出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、あらかじめ大学院担当に申し出て、次の書類を下記の申請期間に提出してください。

ただし、「2. 出願資格」の(注2)の②に該当する者のうち、本学大学院研究科において研究生として研究に従事した者は申請する必要はありません。

① 申請書類

(ア) 資格審査申請書 本学ホームページからダウンロードも可能です。

<https://www.kobe-cufs.ac.jp/admissions/graduate/yokosikaku/>

(イ) 研究計画書 1部(7ページの5. 出願手続(4)出願書類等の⑦を参照してください。)

(ウ) 最終出身学校の卒業証明書(または卒業見込証明書)及び学業成績証明書 各1部
提出要領は6ページの5. 出願手続(4)出願書類等の③④を参照してください。

(エ) 審査結果送付返信用封筒(長形3号、縦23.5cm×横12cmに速達用郵便切手410円分を貼付し宛先明記)

(オ) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると証明できる書類、および上記(ア)資格審査申請書の裏面「資格・検定等の名称」欄に記入した内容が証明できる書類

② 申請期間

(ア) 第1次資格審査 2025年6月27日(金)から7月3日(木)まで【必着】

(イ) 第2次資格審査 2025年11月7日(金)から11月13日(木)まで【必着】

③ 申請先

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1 神戸市外国語大学 研究所グループ大学院担当
簡易書留速達で郵送(角形2号封筒を使用し表に「修士課程(○○専攻)資格審査申請書類在中」と朱書き)

④ 審査結果の通知

申請書類に基づき審査を行います。審査結果については、以下の期日までに本人宛に通知します。
出願資格の認定を受けた者は、出願手続を出願期間内に行ってください。

※出願書類中の卒業証明書または卒業見込証明書、学業成績証明書の提出は不要。

(ア) 第1次資格審査結果 2025年8月1日(金)

(イ) 第2次資格審査結果 2025年12月5日(金)

4. 外国人特別選抜

- (1) 本学大学院研究科では、外国人留学生のみを対象とした募集・選抜は行いません。一般選抜の募集人員に外国人留学生を含めて選抜を実施します。外国籍で外国の大学を卒業した者が対象となります。外国籍であっても、日本の大学を卒業した場合は外国人特別選抜の対象となりません。
- (2) 国際関係学専攻の法律・政治領域の選抜試験を外国人特別選抜により受験する場合、当該領域の筆答試験において、英語問題が免除されます。
- (3) 外国人特別選抜により受験する者は、志望する専攻の領域に関しての筆答試験または口述（面接）試験において研究に必要な日本語能力が評価されます。

5. 出願手続(海外在住の方は、事前にメールで大学院担当までご連絡ください。)

志願者は、出願書類を一括し、角形2号の封筒を用いて、簡易書留速達で下記の出願期間内に本学に必着するように郵送または持参してください(封筒の表に「修士課程(〇〇専攻)入試出願書類在中」と朱書きしてください)。

※指導を希望する教員に連絡を取り、今後行う研究のテーマについて指導可能な分野であるかを確認の上、出願してください。教員との連絡方法については、p.20をご覧ください。

(1) 出願期間

第1次募集 2025年8月20日(水)から8月26日(火)まで【必着】

第2次募集 2025年12月10日(水)から12月16日(火)まで【必着】

※持参の場合は、8時30分～12時30分、13時30分～17時(土日祝を除く)に窓口にお越しください。

(2) 出願先

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1 神戸市外国語大学 研究所グループ大学院担当

(3) 受験上特別な配慮を必要とする志願者について

障がい※を有し、受験上および修学上特別な配慮を必要とする者は、出願前にあらかじめ大学院担当に申し出て、相談を行ってください。

(相談期間) 第1次募集:2025年6月25日(水)まで 第2次募集:2025年11月6日(木)まで

※障害者基本法(昭和45年法律第84号)第2条第1号に規定する障害者のことで、身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む)その他の心身の機能の障害がある者を指します。

(4) 出願書類等

入学志願者は必要書類等(①～⑫)を一括して郵送してください。(外国人特別選抜共通)

書類等の名称		提出該当者	摘 要
①	入 学 願 書	全 員	本学所定の用紙に志願者本人が記入し、写真(3ヶ月以内に撮影した無加工のもの)を貼り付けてください。 ・志願者は、志望する専攻・履修コースを1つ選んで出願してください。 ・導教員欄は、希望する指導教員がいれば記入してください。未定の場合は記入する必要はありません。
②	受 験 票	全 員	本学所定の用紙に志願者本人が記入し、写真(3ヶ月以内に撮影した無加工のもの)を貼り付けてください。
③	卒 業 証 明 書 または 卒業見込証明書	全 員 ※本学研究生は不要 ※コピー不可	出身大学の学長または学部長が作成したもの(厳封) ・外国の学校または機関が発行した証明書等が、日本語または英語以外の言語の場合は、厳封を解いたうえで和文または英文翻訳を添付してください。その際は、出身・所属学校、公的機関、または日本語学校等で翻訳文が正確なものであるという証明を受けてください。 ・ロシア語学・中国語学・イスパニア語学専攻に出願する場合は、それぞれの専攻の言語で発行された証明書の提出を認めます。(翻訳不要) ・書類が提出できない正当な理由がある場合のみ、「在学証明書」と「その時点で発行できる学業成績証明書」を代わりに提出することで出願を認めます。ただし、入学手続き日までに、「卒業証明書または卒業見込証明書」と「学業成績証明書」を提出できない場合は、合格を取り消します。
④	学業成績証明書		

書類等の名称		提出該当者	摘 要
⑤	学士証書または 学位取得証明書	外国の大学を 卒業した者 ※本学外国人 研究生は不要 ※コピー不可	③の卒業証明書に取得学位の記載がある場合は不要です。証明書を提出できない者は、学士証書の <u>原本</u> を持参または郵送してください。原本は確認後返却します。 ・持参の場合、事前に大学院担当(受付時間8時30分～12時30分、13時30分～17時、土日祝を除く)まで連絡してください。
⑥	卒業論文 あるいは レポート	英語学専攻 ロシア語学専攻 中国語学専攻 イスパニア語学専攻 の志願者 国際関係学専攻 (文化)及び 日本アジア言語 文化専攻の第2 次募集志願者	提出部数:1部(①あるいは②のいずれか) (テーマ、氏名を明記した表紙をつけてください。提出した卒業論文等は返却しません。) ①志望する専攻に関連がある卒業論文を提出できる場合は、その写し ②卒業論文が志望する専攻と関連がない場合、または卒業論文を提出できない場合は、本学の大学院修士課程において専攻しようとする分野に関する「論文またはレポート」を提出してください。特定の課題、テーマを取り上げ、それに関してどのような研究をしているかということをおA4判の用紙に10枚程度を上限に記入してください。なお、文章作成の際に生成AIを使用しないでください。
⑦	研究計画書	全 員	提出部数:1部 ・これまでの研究経過を踏まえた上で、今後行う研究テーマについて、その目的・意義・方法等を具体的に述べてください。 ・A4判の用紙に日本語または出願する専攻が指定した言語(下表参照)により、日本語2000字相当(他言語の場合A4判2枚相当)でまとめること。 ・様式は指定しませんが、用紙の右上に氏名、希望する専攻、分野・領域を記入してください。 ・文章作成の際に生成AIを使用しないでください。 ＜研究計画書の作成言語＞ ・英語学専攻(日本語または英語) ・ロシア語学(日本語またはロシア語) ・中国語学(日本語または中国語) ・イスパニア語学(日本語、英語またはスペイン語) ・国際関係学専攻及び日本アジア言語文化専攻(日本語のみ)
⑧	入学選抜料	全 員	26,000円 ・郵便局の窓口で、願書受付一週間前から受付期間内に本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 * ATM(現金自動預入払出機)での振込みはしないでください。 ・必ず郵便局の日付印が押された【振替払込受付証明書(お客さま用)】を本要項添付の払込受付証明書貼付書に貼り付けて提出してください。 ・入学選抜料が振込まれていない場合や、【振替払込受付証明書(お客さま用)】を貼り付けていない場合、または【同受付証明書】に郵便局の日付印がない場合は、願書は受理しません。
⑨	受験票返送用封筒	全 員	本要項添付の封筒に返信先を明記し、速達用郵便切手 410 円分を貼り付けてください。海外在住者は不要です。(注7)
⑩	長期履修申請書	希望者のみ (留学生除く)	職業を有し就業している等により長期にわたる教育課程の履修を希望する者は必ず提出してください。口述(面接)試験の際に、希望理由等について質問を行い、審査を行います(15 ページ参照)。
⑪	日本語能力を判断するための資料	外国人留学生	外国人留学生の出願者で日本語能力検定の受験歴がある者は、成績スコア証明書のコピーを添付すること。
⑫	応募用紙及び TOEFLもしくは IELTSのスコア 証明書	モナッシュ大学 ダブル・マスター プログラム参加 希望者のみ	英語学専攻・通訳翻訳学領域志望で参加希望者は提出してください。 *応募要件として、下記を満たしている必要があります。 TOEFL iBT® 総合 79 以上(うちWriting 21 以上、Listening 12 以上、Reading 13 以上、Speaking 18 以上)または、IELTS Academic Module 総合 6.5 以上(うちWriting/Listening/Reading/Speakingがそれぞれ 6.0 以上) どちらの場合も 2025 年4月から出願までに実施されたもの。

- (注 1) 出願書類等が不備の場合は受け付けません。
- (注 2) 出願書類提出後は、提出書類の変更を認めません。また、出願書類は返却しません(学士証書原本除く)。
- (注 3) 結婚等で証明書の氏名と現氏名が異なっている場合は、同一人であることを証明する戸籍抄本を提出してください。
- (注 4) 出願書類等に虚偽の記載が認められた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (注 5) 既納の入学選抜料は次の事由以外は返還しません。
- a. 入学選抜料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - b. 出願書類が不備等により受理されなかった場合
 - c. 重複して入学選抜料の払い込みをした場合
- 上記の a から c に該当する場合は、必ず出願締切日から 1 カ月以内に財務担当(TEL:078-794-8123 受付時間 8 時 30 分～12 時 30 分、13 時 30 分～17 時、土日祝を除く)に連絡し、返還請求の手続きを行ってください。
- なお、返還金は振込手数料を差し引いた金額となります。
- (注 6) 出願後に住所等を変更された場合は、必ず研究所グループ大学院担当にメールで連絡し、変更の手続きを行ってください。(e-mail: grad_kcufs@office.kobe-cufs.ac.jp)
- (注 7) 年度途中で郵便料金の改定が行われた際は、その改定に従った料金の切手を貼付してください。

6. 受験票の送付

第 1 次募集: 2025 年 9 月 11 日(木)付、第 2 次募集: 2026 年 1 月 13 日(火)付で出願者全員に「受験票」を送付します。なお、第 1 次募集: 2025 年 9 月 24 日(水)時点、第 2 次募集: 2026 年 1 月 26 日(月)時点で、「受験票」が未着の場合には、研究所グループ大学院担当までメールで照会してください。

7. 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類と学力試験の結果を総合して行います。

- (1) 学力試験 (会場 神戸市外国語大学)
- | | | |
|-----|---------|---------------------|
| 日 時 | 第 1 次募集 | 2025 年 10 月 4 日 (土) |
| | 第 2 次募集 | 2026 年 2 月 15 日 (日) |

- (2) 選抜試験の内容

・第 1 次募集

	筆 答 試 験 (200 点)	口 述 (面 接) 試 験 (100 点) ※専攻・領域により専攻する言語で行う場合あり
	10:00～12:30(150分)	14:00～
英語学専攻	志望する専攻の科目に関して行います。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に据え、専攻する分野に関連する論文またはレポートに関する評価も交えながら試問を行います。	
ロシア語学専攻	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	基礎的な語学力、専門領域に関する知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては専攻する分野に関連する論文またはレポート及び研究計画書を中心に試問を行います。	
中国語学専攻 イスパニア語学 専攻	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては専攻しようとする分野に関連する論文またはレポートと、研究計画書を中心に試問を行います。	
国際関係学専攻 (法律・政治)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。ただし、外国人特別選抜は英語の問題を含みません。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	
国際関係学専攻 (経済・経営)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	

	筆 答 試 験 (200 点)	口 述 (面 接) 試 験 (100 点) ※専攻・領域により専攻する言語で行う場合あり
	10:00～12:30(150分)	14:00～
国際関係学専攻 (文化)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、外国語の問題(英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語から選択)を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び論述能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	
日本アジア言語 文化専攻 (日本語、日本文化)	志望する専攻の科目に関して行います。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	
日本アジア言語 文化専攻 (アジア言語文化)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	

・第2次募集

	筆 答 試 験 (200 点)	口 述 (面 接) 試 験 (100 点) ※専攻・領域により専攻する言語で行う場合あり
	10:00～12:30(150分)	14:00～
英語学専攻	志望する専攻の科目に関して行います。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては専攻する分野に関連する卒業論文あるいはそれに代わる論文またはレポートと研究計画書を中心に試問を行います。	
ロシア語学専攻	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては専攻する分野に関連する卒業論文および研究計画書を中心に試問を行います。	
中国語学専攻 スペイン語学 専攻	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	研究に関する問題意識と研究意欲、適性などを重視し、口述(面接)試験においては専攻しようとする分野に関連する卒業論文等の研究成果と、研究計画書を中心に試問を行います。	
国際関係学専攻 (法律・政治)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。ただし、外国人特別選抜は英語の問題を含みません。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	
国際関係学専攻 (経済・経営)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識及び研究能力を重視し、口述(面接)試験においては研究計画書を中心に試問を行います。	
国際関係学専攻 (文化)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、外国語の問題(英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語から選択)を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	希望する研究内容に関する問題意識を重視し、口述(面接)試験においては卒業論文又はそれにかわるレポート等、及び研究計画書を中心に試問を行います。	
日本アジア言語 文化専攻 (日本語、日本文化)	志望する専攻の科目に関して行います。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識・研究能力のほか、これまでの研究の経過や研究計画書を中心に口述試験では総合的な試問を行います。なお、大学院での研究計画に関連する卒業論文あるいはレポートをすでに執筆している方はそれも合わせて可否の判断材料とします。	
日本アジア言語 文化専攻 (アジア言語文化)	志望する専攻の科目に関して行います。 一部、英語の問題を含みます。	志望する専攻の科目(領域)等に関して行います。
	専門的知識・研究能力のほか、これまでの研究の経過や研究計画書を中心に口述試験では総合的な試問を行います。なお、大学院での研究計画に関連する卒業論文あるいはレポートをすでに執筆している方はそれも合わせて可否の判断材料とします。	

8. 合格発表

日 時 第1次募集 2025年10月10日(金) 午前10時

第2次募集 2026年2月20日(金) 午前10時

本学ホームページに合格者受験番号を掲示するとともに、受験者全員に合否通知を郵送します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続

合格者は指定日までに入学金を一括で納入するとともに書類を郵送してください。詳細は合格通知に同封します。

第1次募集 2025年10月24日(金) 必着

第2次募集 2026年3月6日(金) 必着

(注1) 指定日までに入学手続を行わない者は入学辞退者として取り扱い、これ以降の入学手続は原則として認めません。

(注2) 入学手続完了後は、納入された入学金は返還しません。

10. 入学必要経費

入学金(入学手続に必要な経費)及び授業料

種 別	金 額	備 考
入 学 金	(神戸市民及びその子弟) 297,000 円	1.「神戸市民」とは、入学者本人が2026年4月1日の1年前から引き続き神戸市に住所を有している場合をいいます。 2.「その子弟」とは、入学者が神戸市民の配偶者または神戸市民の2親等内の親族であり、その配偶者または2親等内の親族が2026年4月1日の1年前から引き続き神戸市に住所を有している場合をいいます。
	(上記以外の方) 423,000 円	
授 業 料	(年額) 535,800 円	前期・後期 各 267,900 円 前期分(納期 5月末日) 後期分(納期11月末日)

(注) 上記の金額は、改定する場合があります。在学中に授業料の改定を行ったときは、改定時から新授業料を適用します。

☆入学金以外で入学時に納付をお願いしている費用(入学時のみの費用です。)

種 別	金 額	備 考
神戸市外国語大学 楠ヶ丘会(同窓会)入会金	30,000 円	(入会金として) 30,000 円
神戸市外国語大学 伸 興 会 費	2年分 40,000 円	(入会金として) 20,000 円 (会費として) 20,000 円
学 生 教 育 研 究 災 害 傷 害 保 険 料	2年分 1,750 円	(保険料として) 1,750 円(2年分)
	3年分 2,600 円	(保険料として) 2,600 円(3年分)
	4年分 3,300 円	(保険料として) 3,300 円(4年分)
神戸市外国語大学 消費生活協同組合出資金	20,000 円	出資金については組合員の資格がなくなった際(修了など)に全額返金されます。

※神戸市外国語大学伸興会とは、正会員(学生の保証人)及び賛助会員(本会の主旨に賛同する財政的援助者)をもって組織され、大学の発展に寄与することを目的として設立された団体です。

※楠ヶ丘会(同窓会)入会金(30,000円)・伸興会入会金(20,000円)は、本学卒業生で在学時に入会されていた方は必要ありません。

11. 入学時期

2026年4月(ただし、モナッシュ大学とのダブル・マスタープログラム参加者は2026年2月入学となります。)

2026年度 修士課程学生募集要項(社会人特別選抜)

社会人経験を有する方には社会人特別選抜も実施しています。学力試験の配点比率が一般選抜と異なります。入学後は一般選抜合格者と同じ条件で在学します。

1. 募集人員

各専攻 若干名

- ・一般選抜募集人員に含まれます。
- ・専攻別の募集人員及び注意事項は4ページの一般選抜募集人員にてご確認ください。

2. 出願資格

次のいずれかに該当し、かつ3年以上の社会人経験を有し、2026年3月31日までに25歳に達する者(家事専従者含む)。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または2026年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または2026年3月31日までにその見込みの者
- (3) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者または2026年3月31日までにその見込みの者(※注1)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 旧制学校等を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号)
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者または2026年3月31日までに修了見込みの者(昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号)
- (10) 神戸市外国語大学(以下「本学」という。)大学院研究科において、個別の資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者(※注2)

(注1) (3)に該当する者のうち、外国人留学生については、外国人特別選抜に基づく入学選抜試験で受験することができます。ただし、出願資格(1)、(2)に該当する者は除きます。

(注2) 出願資格(10)に該当する者とは、以下のいずれかに該当する者です。この場合、資格審査を受ける必要があります。

- ① 短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本校、外国人学校その他の日本における教育施設の修了者または2026年3月31日までに修了見込みの者
- ② 外国において高等教育を修了した者で、学士の学位に相当する学位を有さず、高等教育修了後、日本国内の大学において研究生、研修員等として1年以上研究に従事した者、または2026年3月31日までに従事することになると見込まれる者

(注3) モナッシュ大学とのダブル・マスタープログラム応募要件

英語学専攻・通訳翻訳学領域志望で、モナッシュ大学とのダブル・マスタープログラム参加を希望される場合は、出願時点で下記の要件を満たす必要があります。

- ① 学位 学士の学位を有する者またはその見込みの者
- ② 英語能力 TOEFL iBT® 総合79以上(うちWriting 21以上、Listening 12以上、Reading 13以上、Speaking 18以上)または、IELTS Academic Module 総合6.5以上(うちWriting / Listening / Reading / Speaking がそれぞれ6.0以上) ※どちらの場合も2025年4月から出願までに実施されたもの。

※日本語が母語でない者は、応募に先立ち必ず申し出をし、応募要件の確認をしてください。

3. 資格審査

出願資格（10）に該当する場合は、事前に資格審査が必要になります。

審査が必要となるのは、「短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本校、外国人学校その他の教育施設の修了者」で「3年以上の社会人経験を有し、2026年3月31日までに25歳に達する者（家事専従者含む）」です。申請方法は5ページをご覧ください。

4. 出願手続（海外在住の方は、事前にメールで大学院担当までご連絡ください。）

出願書類を一括し、角形2号の封筒を用いて、簡易書留速達で下記の出願期間内に本学に必着するように郵送または持参してください（封筒の表に「修士課程（〇〇専攻）入試出願書類在中」と朱書きしてください）。

※指導を希望する教員に連絡を取り、今後行う研究のテーマについて指導可能な分野であるかを確認の上、出願してください。教員との連絡方法については、p.20をご覧ください。

(1) 出願期間

第1次募集 2025年8月20日（水）から8月26日（火）まで【必着】

第2次募集 2025年12月10日（水）から12月16日（木）まで【必着】

※持参の場合は、8時30分～12時30分、13時30分～17時（土日祝を除く）に窓口にお越しください。

(2) 出願先

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1 神戸市外国語大学 研究所グループ大学院担当

(3) 受験上特別な配慮を必要とする志願者について

障がい※を有し、受験上および修学上特別な配慮を必要とする者は、出願前にあらかじめ本学大学院班に申し出て、相談を行ってください。

（相談期間）第1次募集：2025年6月25日（水）まで 第2次募集：2025年11月6日（木）まで

※障害者基本法（昭和45年法律第84号）第2条第1号に規定する障害者のことで、身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む）その他の心身の機能の障害がある者を指します。

(4) 出願書類

各書類の提出要件等は、6～7ページ（一般選拔出願書類）にて確認ください。

① 入学願書

② 受験票

③ 卒業証明書又は卒業見込証明書 ※本学研究生は不要

④ 学業成績証明書 ※本学研究生は不要

⑤ 学士証書または学士を証明できる証明書（外国の大学を卒業した者のみ）※本学外国人研究生は不要

⑥ 卒業論文あるいはレポート 希望する専攻により要件が異なります。

⑦ 研究計画書 希望する専攻により要件が異なります。

⑧ 入学選抜料

⑨ 受験票返送用封筒

⑩ 長期履修申請書（希望者のみ）

⑪ 語学力を判断するための資料（外国人留学生）

⑫ 応募用紙及び TOEFL もしくは IELTS のスコア証明書 モナッシュ大学ダブル・マスタープログラム希望者のみ

（注1）出願書類等が不備の場合は受け付けません。

（注2）出願書類提出後は、提出書類の変更を認めません。また、出願書類は返却しません（学士証書原本除く）。

（注3）結婚等で証明書の氏名と現氏名が異なっている場合は、同一人であることを証明する戸籍抄本等を提出してください。

（注4）出願書類等に虚偽の記載が認められた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

（注5）既納の入学選抜料は次の事由以外は返還しません。

a. 入学選抜料を払い込んだが、出願しなかった場合

b. 出願書類が不備等により受理されなかった場合

c. 重複して入学選抜料の払い込みをした場合

上記の a から c に該当する場合は、必ず出願締切日から1カ月以内に財務担当（TEL：078-794-8123 受付時間 8時30分～12時30分、13時30分～17時、土日祝を除く）に連絡し、返還請求の手続きを行ってください。なお、返還金は振込手数料を差し引いた金額となります。

（注6）出願後に住所等を変更された場合は、必ず研究所グループ大学院担当にメールで連絡し、変更の手続きを行ってください（e-mail: grad_kcufs@office.kobe-cufs.ac.jp）。

（注7）年度途中で郵便料金の改定が行われた際は、その改定に従った料金の切手を貼付してください。

5. 受験票の送付

第1次募集:2025年9月11日(木)付、第2次募集:2026年1月13日(火)付で出願者全員に「受験票」を送付します。なお、第1次募集:2025年9月24日(水)時点、第2次募集:2026年1月26日(月)時点で、「受験票」が未着の場合には、研究所グループ大学院担当まで、メールで照会してください。

6. 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類と学力試験の結果を総合して行います。

(1) 学力試験(会場 神戸市外国語大学)

日 時 第1次募集 2025年10月4日(土)

第2次募集 2026年2月15日(日)

(2) 選抜試験の内容

筆答試験と口述(面接)試験の配点は一般選抜と異なり、口述(面接)試験を重視(筆答試験150点、口述試験150点)します。試験における評価の視点は一般選抜と同様です(8~9ページ参照)。

7. 合格発表

日 時 第1次募集 2025年10月10日(金) 午前10時

第2次募集 2026年2月20日(金) 午前10時

本学ホームページへの合格者受験番号の掲示とともに、受験者全員に可否通知を郵送します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

8. 入学手続

合格者は、指定日までに入学金を一括で納入するとともに書類を郵送してください。詳細は合格通知に同封します。

第1次募集 2025年10月24日(金) 必着

第2次募集 2026年3月6日(金) 必着

(注1)指定日までに入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱い、これ以降の入学手続は原則として認めません。

(注2)入学手続完了後は、納入された入学金は返還しません。

9. 入学必要経費

入学金(入学手続に必要な経費)及び授業料

種 別	金 額	備 考
入 学 金	(神戸市民及びその子弟) 297,000 円	1. 「神戸市民」とは、入学者本人が2026年4月1日の1年前から引き続き神戸市に住所を有している場合をいいます。
	(上記以外の方) 423,000 円	2. 「その子弟」とは、入学者が神戸市民の配偶者または神戸市民の2親等内の親族であり、その配偶者または2親等内の親族が2026年4月1日の1年前から引き続き神戸市に住所を有している場合をいいます。
授 業 料	(年額) 535,800 円	前期・後期 各 267,900 円 前期分(納期 5月末日) 後期分(納期11月末日)

(注)上記の金額は、改定する場合があります。在学中に授業料の改定を行ったときは、改定時から新授業料を適用します。

☆入学金以外で入学時に納付をお願いしている費用（入学時のみの費用です。）

種 別	金 額		備 考
神戸市外国語大学 楠ヶ丘会（同窓会）入会金	30,000 円		（入会金として） 30,000 円
神戸市外国語大学 伸 興 会 費	2 年分	40,000 円	（入会金として） 20,000 円 （会費として） 20,000 円
学 生 教 育 研 究 災 害 傷 害 保 険 料	2 年分	1,750 円	（保険料として） 1,750 円（2 年分）
	3 年分	2,600 円	（保険料として） 2,600 円（3 年分）
	4 年分	3,300 円	（保険料として） 3,300 円（4 年分）
神戸市外国語大学 消費生活協同組合出資金	20,000 円		出資金については組合員の資格がなくなつた際（修了など）に全額返金されます。

※神戸市外国語大学伸興会とは、正会員（学生の保証人）及び賛助会員（本会の主旨に賛同する財政的援助者）をもって組織され、大学の発展に寄与することを目的として設立された団体です。

※楠ヶ丘会（同窓会）入会金（30,000 円）・伸興会入会金（20,000 円）は、本学卒業生で在学時に入会されていた方は必要ありません。

10. 入学時期

2026年4月（ただし、モナッシュ大学とのダブル・マスタープログラム参加者は2026年2月入学となります。）

長期履修学生制度について

職業等を有する等の事情により、研究・学習活動の時間に制約があり、標準修業年限2年では修了することが難しいため、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度です。

■対象者

入学を許可され、以下の理由により就学時間が制限される者

- ① 職業を有し、就業している
- ② 家事、育児、介護等の事情を有する
- ③ その他やむを得ない事情により標準修業年限で修了することが困難である

※留学生(留学ビザ取得(見込)者)は対象外です。

■長期履修期間

標準修業年限2年を越えた場合で、在学年限(4年)の範囲内で、1年単位

※4月を始期とします。休学の期間は含みません。

■授業料

- (1) 3年計画の場合 大学が定めた授業料年額×標準修業年限(2年)÷長期履修期間(3年)
 - (2) 4年計画の場合 大学が定めた授業料年額×標準修業年限(2年)÷長期履修期間(4年)
- 従って、通常の2年分の授業料を3年または4年で分割し、納入することになります。

■申請方法

出願時に、申請書(長期履修申請書)と、在職証明書等長期履修が必要であると証明できる書類を添えて申請してください。

口述(面接)試験の際に、希望理由等について質問を行い、審査を行います。

※内容確認のため、追加で書類の提出を求めることがあります。

※入学後の申請は受け付けません。

■可否の決定

申請書類をもとに審査を行い、研究科会議の審議を経て学長が決定します。

合格発表と同時に郵送にて通知します。

■履修期間の変更

長期履修期間中に状況の変化により、当初履修期間を短縮する場合は、1年単位で短縮することができます。指導教員の下承を得て長期履修期間短縮申請書により申請を行い、研究科会議の審議を経て学長が決定します。

※履修期間は延長できません。短縮申請は在学中1回のみ可能です。

履修コース及び単位取得方法

英語教育学専攻を除く6専攻において「論文コース」と「課題研究コース」を設置しています。
志願者は修了後の進路に合わせて、出願時にいずれかのコースを選択してください。

履修コース

・論文コース

論文コースには、本学大学院教育の理念の1つである「人文社会科学の最先端をリードする研究者の養成」を目標とし、広く深い学術的知見の獲得と問題発見・解決能力の育成を目指した指導体制が敷かれています。本コースの学生は、本学修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目(別表参照)から30単位以上を取得し、学位論文の提出と、その審査及び最終試験に合格することを要します。将来新たな問題の発見と解決が行える自立した研究者を目指す方を対象としています。

・課題研究コース

課題研究コースには、本学大学院教育の理念の1つである「幅広い国際感覚と高い外国語運用能力を備えた人材の養成」を目標とし、当該分野の学術的動向の把握、広範な学識の修得、ないし深い異文化理解を目指した指導体制が敷かれています。本コースの学生は、本学修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目(別表参照)から30単位以上を取得し、課題研究の提出と、その審査及び最終試験に合格することを要します。将来国際社会において対外的なニーズに即応できる確かな判断力と柔軟に行動できる国際感覚をもった社会人を目指す方を対象としています。

単位取得方法

以下の要領により、30単位以上を取得します。なお、本学大学院外国語学研究科修士課程と神戸大学大学院人文学研究科(博士課程前期課程)との間における学生交流協定に基づき、相互の授業を10単位を限度に履修することができます。

	専攻	専攻課程の授業科目 (別表1・3・4)	指定授業科目 (別表5)	共通授業科目 (別表2)	他の専攻課程		(別表6)	学部・第2部 授業科目
					関連言語	授業科目		
論文コース	英語学	別表1 20単位以上	－	修了必要単位数への算入可。ただし、年度が変われば同じ科目を再度履修できるが、修了必要単位数への算入は不可	履修可、 修了必要 単位数への 算入不可	履修可、 修了必要 単位数への 算入不可	履修可、 修了必要 単位数への 算入不可	
	ロシア語学 中国語学 イスパニア語学	別表1 16単位以上		8単位以上				
	国際関係学	別表3 主領域12単位以上	－	12単位まで修了必要単位数への算入可				
	日本アジア 言語文化	別表4 主領域18単位以上 主領域以外8単位以上	4単位以上	履修可、修了必要単位数への算入不可				
課題研究コース	英語学	別表1 12単位以上	－	18単位まで修了必要単位数への算入可	履修可、 修了必要 単位数への 算入不可	4単位まで 修了必要 単位数への 算入可	履修可、 修了必要 単位数への 算入不可	
	ロシア語学 中国語学 イスパニア語学			18単位まで修了必要単位数への算入可		8単位まで 修了必要 単位数への 算入可		
	国際関係学	別表3 主領域12単位以上	－	18単位まで修了必要単位数への算入可				
	日本アジア 言語文化	別表4 主領域12単位以上	4単位以上	14単位まで修了必要単位数に算入可				

授業科目

※授業科目名は2025年度時点の情報です。今後変更する場合があります。

別表1	授 業 科 目 名	単 位	授 業 科 目 名	単 位	備 考
英 語 学 専 攻 ＜ 関 連 言 語 ＞	英語学研究 1・2・3・4・5	各2	メディア通訳翻訳研究 1・2	2・2	(論文コース)
	英語学演習 1・2・3・4・5・6	各2	放送通訳分析 1・2	2・2	左記の授業科目から
	英米文学研究 1・2・3・4・5・6	各2	翻訳理論研究 1・2	2・2	研究指導4単位を含
	英米文学演習 1・2・3・4	各2	翻訳分析 1・2	2・2	む20単位以上履修
	英米文化研究 1・2・3・4	各2	コミュニケーション学研究 1・2	2・2	すること。
	通訳理論研究 1・2	2・2	通訳翻訳特別研究 1・2	2・2	(課題研究コース)
	会議通訳分析 1・2	2・2	研究指導 1・2	1・1	左記の授業科目から
ロ シ ア 語 学 専 攻 ＜ 関 連 言 語 ＞	ロシア語学研究 1・2・3・4	各2	ロシア文学演習 1・2	2・2	(論文コース)
	ロシア語学演習 1・2・3・4	各2	ロシア文化研究 1・2・3・4	各2	左記の授業科目から
	ロシア文学研究 1・2	2・2	研究指導 1・2	1・1	研究指導4単位を含
	東欧諸言語 1・2・3・4	各1			む16単位以上履修
中 国 語 学 専 攻 ＜ 関 連 言 語 ＞	中国語学研究 1・2・3・4・5・6・7・8	各2	中国文学演習 1・2	2・2	(論文コース)
	中国語学演習 1・2・3・4	各2	中国文化研究 1・2・3・4	各2	左記の授業科目から
	中国文学研究 1・2	2・2	研究指導 1・2	1・1	研究指導4単位を含
	呉語 1・2	1・1			む16単位以上履修
	広東語 1・2	1・1			すること。
イ ス パ ニ ア 語 学 専 攻 ＜ 関 連 言 語 ＞	イスパニア語学研究 1・2・3・4・5・6	各2	イスパニア文学演習 1・2	2・2	(論文コース)
	イスパニア語学演習 1・2	2・2	イスパニア文化研究 1・2	2・2	左記の授業科目から
	イスパニア文学研究 1・2・3・4・5・6	各2	中南米文化研究 1・2	2・2	研究指導4単位を含
	ポルトガル語 1・2	1・1	研究指導 1・2	1・1	む16単位以上履修
					すること。
					(課題研究コース)
					左記の授業科目から
					研究指導4単位を含
					む12単位以上履修
					すること。

別表2	授 業 科 目 名	単 位	授 業 科 目 名	単 位	備 考
共 通 授 業 科 目	(古) ギリシャ語 1・2	2・2	*文化比較研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	(論文コース) ロシア語学・中国語学・イスパニア語学専攻の者は、左記の授業科目から8単位以上履修すること。 (課題研究コース) 左記の授業科目から18単位(日本アジア言語文化専攻は14単位)までは、修了必要単位として算入可能。
	(古) ラテン語 1・2	2・2	*文化芸術論研究 1・2	2・2	
	(研) ロシア語	1	*西洋古典学研究 1・2	2・2	
	(研) 中国語	1	*ヨーロッパ文学研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	
	(研) イスパニア語	1	*ヨーロッパ社会研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 1・2	2・2	
	(研) フランス語	1	*近代ヨーロッパ地域研究 1・2	2・2	
	(研) ドイツ語	1	*近代比較地域史研究 1・2	2・2	
	(研) イタリア語Ⅰ・Ⅱ 1・2	1・1	*社会言語学研究 1・2	2・2	
	(研) 東洋諸語 1・2	1・1	*地球科学 1・2	2・2	
	言語学特殊研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	*異文化と言語 1・2	2・2	
	音声学特殊研究 1・2	2・2	*社会言語学特殊研究 1・2	2・2	
	上級日本語 1・2	2・2	*言語心理学的研究 1・2	2・2	
	外国語教授法研究 1・2	2・2	*西洋文化史研究 1・2	2・2	
	模擬国連演習	2	*異文化と社会 1・2	2・2	
	総合情報科学Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	*アメリカ社会研究 1・2	2・2	
	環境論特講 1・2	2・2	*中南米社会研究 1・2	2・2	

(注) 共通授業科目のうち*印のついた科目は、国際関係学専攻の授業科目と共通。

別表3		授 業 科 目 名	単位	授 業 科 目 名	単位	備 考
国 際 関 係 学 専 攻	法律・政治	研究指導 1・2	1・1	国際取引法研究 1・2	2・2	左記の授業科目から研究指導4単位を含む12単位以上履修すること。
		国際協力と国際政治 1・2	2・2	比較商事法研究 1・2	2・2	
		国際協力と国際法 1・2	2・2	比較公法研究 1・2	2・2	
		比較政治学研究 1・2	2・2	総合政策研究 1・2	2・2	
		第三世界論研究 1・2	2・2	現代中国研究 1・2	2・2	
	経済・経営	研究指導 1・2	1・1	比較企業経営システム論 1・2	2・2	左記の授業科目から研究指導4単位を含む12単位以上履修すること。
		経済開発と多国籍企業 1・2	2・2	企業会計論 1・2	2・2	
		経済開発と地域研究 1・2	2・2	数量経済分析研究 1・2	2・2	
		国際経済論研究 1・2	2・2	国際経済政策研究 1・2	2・2	
		国際金融論研究 1・2	2・2	産業組織論研究 1・2	2・2	
	文 化	研究指導 1・2	1・1	ヨーロッパ文学研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	左記の授業科目から研究指導4単位を含む12単位以上履修すること。
		異文化と言語 1・2	2・2	ヨーロッパ社会研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 1・2	2・2	
		社会言語学研究 1・2	2・2	異文化と社会 1・2	2・2	
		社会言語学特殊研究 1・2	2・2	西洋文化史研究 1・2	2・2	
		言語心理学研究 1・2	2・2	近代ヨーロッパ地域研究 1・2	2・2	
		文化比較研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	近代比較地域史研究 1・2	2・2	
		文化芸術論研究 1・2	2・2	アメリカ社会研究 1・2	2・2	
		西洋古典学研究 1・2	2・2	中南米社会研究 1・2	2・2	
	関 連 問 題	地球科学 1・2	2・2			

別表4		授 業 科 目 名	単 位	備 考
日 本 ア ジ ア 言 語 文 化 専 攻	日 本 語	日本語研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	日本語の領域を主として専攻する学生については、日本語研究Ⅰ・4単位、日本語研究Ⅱ・4単位、日本語演習4単位、研究指導4単位は必修とする。
		日本語演習 1・2	2・2	
		日本語特殊講義 1・2	2・2	
		研究指導 1・2	1・1	
	日 本 文 化	日本思想研究 1・2	2・2	日本文化の領域を主として専攻する学生については、日本思想研究4単位、日本文化史演習4単位、研究指導4単位は必修とする。
		近代日本思想研究 1・2	2・2	
		日本文化史演習 1・2	2・2	
		日本文化史特殊講義 1・2	2・2	
		日本史研究 1・2	2・2	
		研究指導 1・2	1・1	
	ア ジ ア 言 語 文 化	アジア言語研究 1・2	2・2	アジア言語文化の領域を主として専攻する学生については、アジア言語研究4単位、アジア言語演習4単位、アジア文化研究4単位、研究指導4単位は必修とする。
		アジア言語演習 1・2	2・2	
		アジア文化研究 1・2	2・2	
		アジア言語文化特殊講義 1・2	2・2	
		研究指導 1・2	1・1	

別表5		授 業 科 目 名	単 位	備 考
日 本 ア ジ ア 言 語 文 化 専 攻		言語学特殊研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	左記の授業科目から4単位以上履修すること。
		上級日本語 1・2	2・2	
		文化比較研究Ⅰ・Ⅱ 1・2	2・2	
		異文化と言語 1・2	2・2	

別表6		授 業 科 目 名	単 位	授 業 科 目 名	単 位
課題研究共通科目		英語学基礎演習 1・2	2・2	国際法・総論 1・2	2・2
		イギリス文学テキスト分析 1・2	2・2	国際法・各論 1・2	2・2
		アメリカ文学テキスト分析 1・2	2・2	国際取引法・総論	2
		英語圏文学基礎演習	2	国際取引法・各論	2
		英米文化基礎演習	2	開発経済論（課題研究）1・2	2・2
		ロシア語学特殊研究 1・2	2・2	国際商務論（課題研究）1・2	2・2
		ロシア文学特殊研究 1・2	2・2	産業組織の経済学（課題研究）1・2	2・2
		ロシア文化特殊研究 1・2	2・2	西洋史特講	2
		中国語学特殊研究 1・2	2・2	社会人類学特講 1・2	2・2
		中国文学特殊研究 1・2	2・2	文化芸術論特講 1・2	2・2
		中国文化特殊研究 1・2	2・2	ラテンアメリカ文化特講 1・2	2・2
		イスパニア語学特殊研究 1・2	2・2	言語学研究「第1」1・2	2・2
		イスパニア文学特殊研究 1・2	2・2	言語学研究「第2」1・2	2・2
		イスパニア文化特殊研究 1・2	2・2	日本語文法の研究 1・2	2・2
		ラテンアメリカ文学特殊研究 1・2	2・2	日本語音声の研究 1・2	2・2
		ヨーロッパ政治・総論	2	日本文化論「第1」	2
		ヨーロッパ政治・各論	2	日本文化論「第2」	2
		比較政治・総論	2	日本文化論「第3」1・2	2・2
		比較政治・各論	2	日本語学「第1」1・2	2・2
		途上国地域社会論・総論	2	日本語学「第2」1・2	2・2
		途上国地域社会論・各論	2	日本語学「第3」1・2	2・2

■教員との連絡方法

指導を希望する教員に連絡を取り、今後行う研究のテーマについて指導可能な分野であるかを確認の上、出願してください。

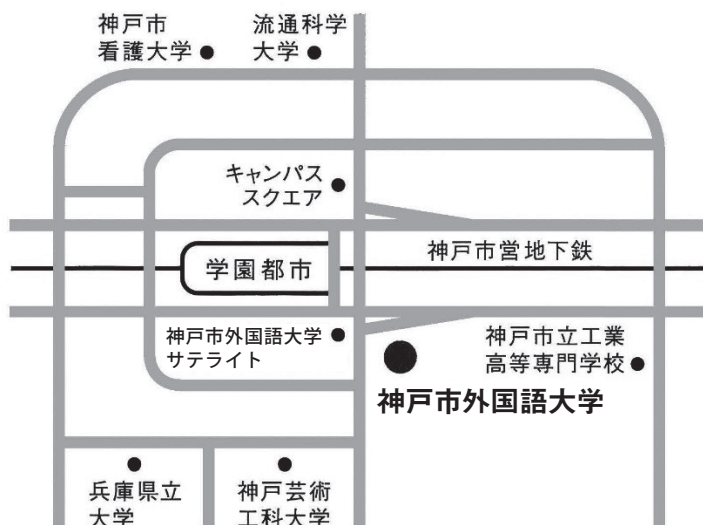
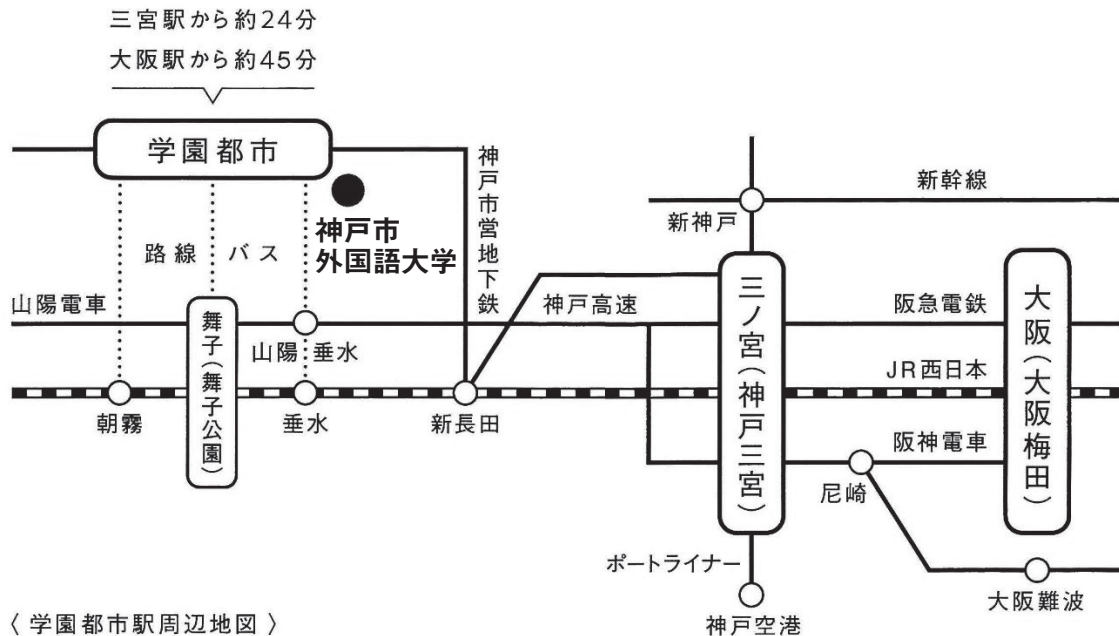
研究分野などについての質問がある場合、原則として志願者が直接、教員宛に電子メールで連絡を取ってください。その際、①氏名②連絡先(メールアドレス、電話番号、住所など)③学歴④指導教員を志望する理由⑤研究内容を必ず記載してください。

メールアドレスは、神戸市外国語大学ウェブサイトの教員紹介のページ(トップページ→研究活動→教員紹介)を参照してください。メールアドレスの掲載がない場合は、指導を希望する教員が所属している専攻共有の下記メールアドレスまで連絡してください。(専攻に所属する全教員に届きますので、必ずどの教員宛かを明記してください。)

専攻		メールアドレス
英語学専攻		grad-info-eng@inst.kobe-cufs.ac.jp
ロシア語学専攻		grad-info-rus@inst.kobe-cufs.ac.jp
中国語学専攻		grad-info-chn@inst.kobe-cufs.ac.jp
イスパニア語学専攻		grad-info-esp@inst.kobe-cufs.ac.jp
国際関係学専攻	法律・政治	grad-info-law@inst.kobe-cufs.ac.jp
	経済・経営	grad-info-ecn@inst.kobe-cufs.ac.jp
	文化	grad-info-cul@inst.kobe-cufs.ac.jp
日本アジア言語文化専攻		grad-info-jp@inst.kobe-cufs.ac.jp

問い合わせから7日以上経過しても教員から連絡がない場合は、大学院担当までお問い合わせください。(その際も上記①～⑤を記載してください。)

試験場案内図



- 新幹線新神戸駅から市営地下鉄で約26分
- 「神戸空港」から「三宮」までポートライナーで約18分
- 三宮駅から市営地下鉄で約24分
- 舞子駅から（市バス 山陽バス）51、53、54系統で約30分
- 垂水駅から（市バス 山陽バス）48、171系統で約30分

学園都市駅下車
徒歩約3分



【問合せ先】

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1

神戸市外国語大学 研究所グループ大学院担当

TEL: 078-794-8238 FAX: 078-794-8160 e-mail: grad_kcufs@office.kobe-cufs.ac.jp

ホームページ: <https://www.kobe-cufs.ac.jp>

※シラバスは「本学ホームページ → シラバス検索」を参照してください。